

5

北広島市の概況

北ひろしまのすがた

(1)沿革

市名のもとになっている「広島」は、明治17年（1884年）に広島県人25戸103人の入植によって開拓されたことに由来します。明治27年（1894年）に月寒村から分離し「広島村」となり広島村戸長役場を開設、昭和43年（1968年）に町制を施行して「広島町」となり、平成8年（1996年）の市制施行により現在の「北広島市」に至っています。

(2)位置・地形

北広島市は、石狩平野南部に位置し、北西は道都札幌市、北は江別市、東は長沼町と南幌町、南は恵庭市に接している周囲約52.5km、総面積118.54km²の都市です。

地形は、南西部にある島松山（標高492.9m）付近を除いては、標高約100m前後の丘陵が各所にあつて起伏に富んでいます。また、市内東部の低地には、水田などの農地が広がっています。

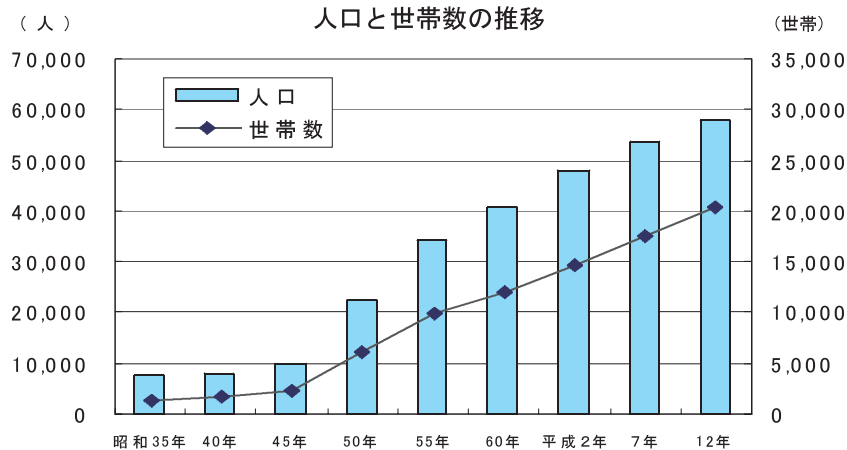


第1章 | 基本的な姿勢

(3)人口の推移

本市の平成12年（2000年）10月1日現在の国勢調査における人口は57,731人となっています。人口の推移としては、昭和45年（1970年）

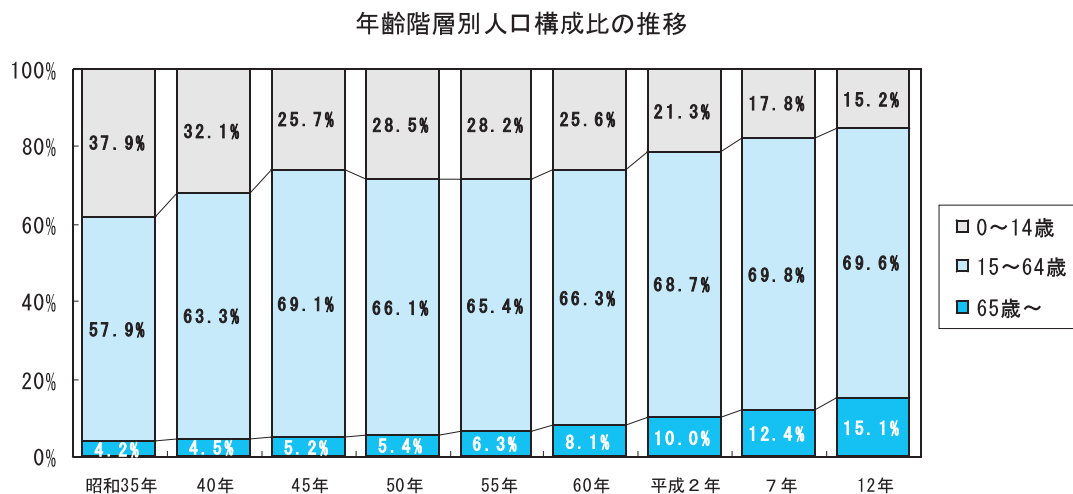
からの北広島団地造成とともに急増しており、平成4年には5万人に達し、現在も増加傾向にあります。



(4)年齢別人口構成比の推移

平成12年（2000年）10月1日現在の国勢調査における年齢別人口構成割合は、0～14歳人口が15.2%、15～64歳人口が69.6%、65歳以上人口が15.1%となっています。年齢別人口構成割合の推移としては、昭和45年の北広島団地造成とともに昭和45年～昭和55年までは0～14歳人口割

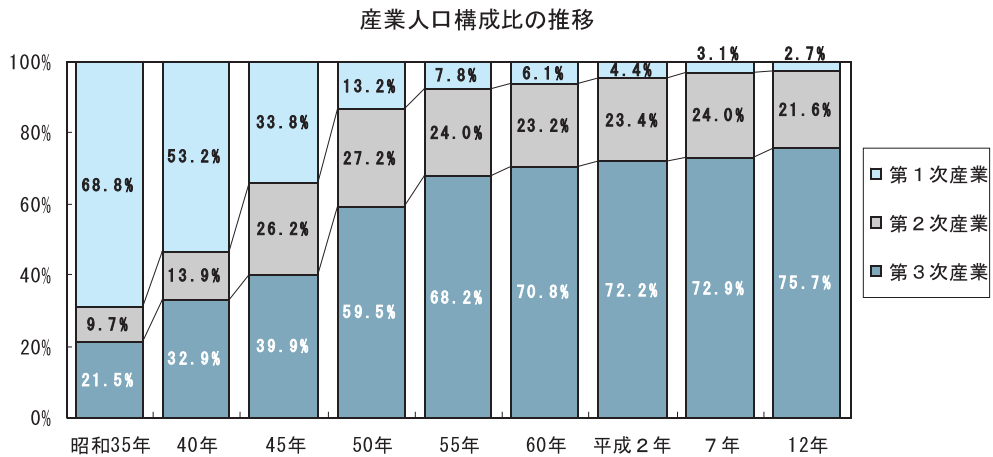
合が増加傾向にありましたが、その後減少傾向に転じています。一方65歳以上人口割合は平成に入ってから、増加傾向が大きくなっており、本市においても、確実に少子化・高齢化が進行しています。



(5) 産業人口構成比の推移

平成12年（2000年）10月1日現在の国勢調査における産業別人口構成割合は、第1次産業人口が2.7%、第2次産業人口割合が21.6%、第3次産業人口割合が75.7%となっています。第1次産業は昭和40年が53.2%と半数以上を占めてい

ましたが、その後急激に減少しました。一方、第3次産業が昭和50年には59.5%と半数以上を占めるようになり、第1次産業にとってかわり現在第3次産業が主体となっています。

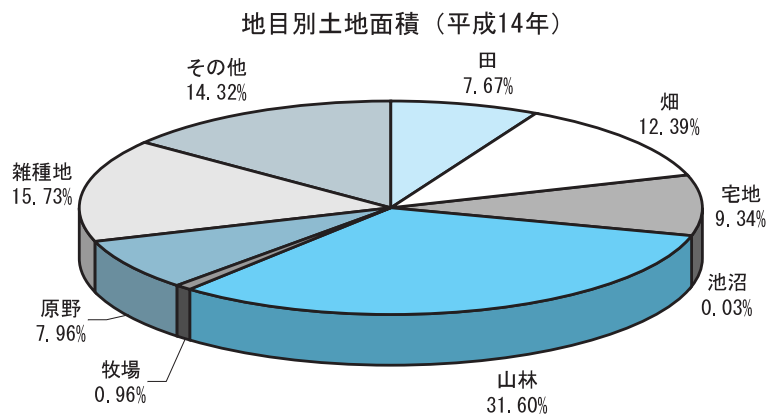


(6) 地目別土地面積比

平成14年度の本市における地目別の土地面積比は、畑が主体である農地が22.69%（田7.67%、畑12.39%、牧場0.96%）、宅地が9.34%、山林が31.60%、原野が7.96%、雑種地が15.73%、

その他が14.32%となっています。

本市はその多くが山林や農地、雑種地等で占められています。宅地が1割弱という状況にあり、緑豊かな市街地を形成しています。



第1章 | 基本的な姿勢

(7) 都市計画

① 土地利用

本市は、市全域11,854haを都市計画区域に指定しており、そのうち市街化区域が1,539ha(13.4%)、市街化調整区域が10,260ha(86.6%)となっていますが、人口の約93%が市街化区域内に居住しています。

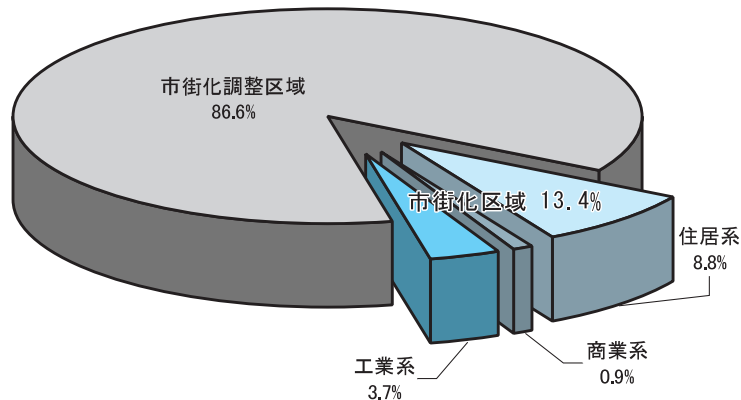
平成15年度の市街化区域における土地利用(用途地域による区分)は、住居系8.8%、商業系0.9%、工業系3.7%となっており、住居系土地利用の比率が高くなっていますが、特に第1種低層住居専用地域が高い割合を占めています。

表 土地利用の状況(平成15年度現在)

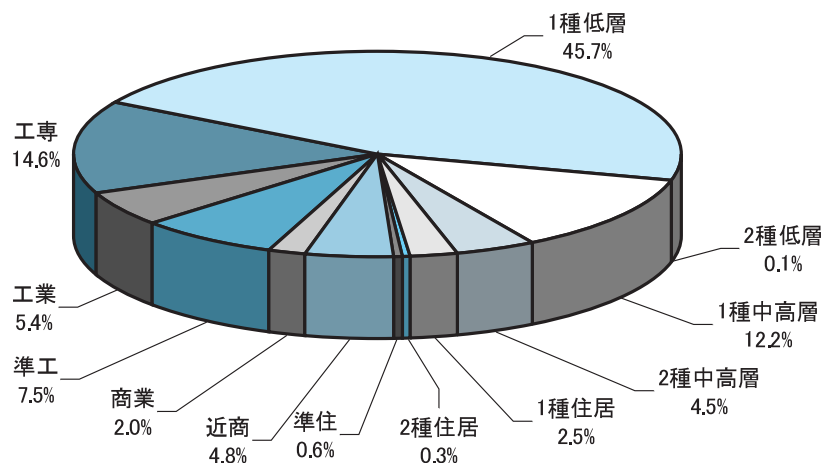
(単位:ha)

区分	面積	割合	市街化区域内			
			12用途区分	面積	割合	
市街化区域	住居系	1,048	8.8%	第1種低層住居専用地域	729.0	45.7%
				第2種低層住居専用地域	0.8	0.1%
				第1種中高層住居専用地域	194.0	12.2%
				第2種中高層住居専用地域	71.0	4.5%
				第1種住居地域	40.0	2.5%
				第2種住居地域	4.1	0.3%
	商業系	109	0.9%	準住居地域	9.1	0.6%
				近隣商業地域	77.0	4.8%
				商業地域	32.0	2.0%
				工業系	437	3.7%
工業地域	86.0	5.4%				
工業専用地域	232.0	14.6%				
計	1,594	(13.4%)	市街化区域内計	1,594.0	100.0%	
市街化調整区域	10,260	86.6%				
合計	11,854	100.0%				

土地利用の状況(平成15年度)



市街化区域内の土地利用(平成15年度)



②都市施設、市街地開発事業等

平成15年度における本市の都市計画道路は、35路線、約67.8km、都市計画公園・緑地は、52箇所126.8haとなっています。公共下水道は、平成14年4月1日現在、処理人口約55,500人、普及率94.6%となっており高い水準にあります。

市街地開発事業については、これまでに新住宅市街地開発事業と土地区画整理事業を行っており、地区計画は14地区、約200haに導入されています。

表 都市計画施設の状況

区分	種類	面積又は延長
都市計画道路	35路線	67,780m
都市計画公園・緑地	52箇所	126.80ha
公共下水道	計画処理人口 58,300人	1,594ha
都市下水路	共栄都市下水路	920m
その他都市施設	道央地区し尿処理場	1.2ha
	北広島市ごみ処理場	1.9ha
	北広島団地熱供給施設	2,100m ²
	輪厚川	2,420m
	北広島市火葬場	0.5ha
	北広島霊園	33.2ha
市街地開発事業	13地区	708.4ha
地区計画	14地区	201.2ha



イメージ図

北広島市は、札幌市に隣接し、豊かな自然や農地に囲まれた5つの市街地から成ります。